

家庭学習の手引き



・ 学校教育目標

学びを未来につなぐ

・ 目指す生徒の姿

1 年生

学習習慣を確立させ、意欲的・積極的に学習に取り組む姿勢を育む。

学習時間の目安
80 分以上

2 年生

基礎学力の定着と充実を目指し、自主的に学ぶ力を育てる。

自己の目標の実現に向けて努力する姿勢を育てる。

学習時間の目安
90 分以上

3 年生

基礎学力の定着と充実を目指し、進路に向けて自ら課題を発見し、課題解決のための方法を考え、選択し、学ぶ力を育てる。

学習時間の目安
100 分以上

・ 家庭学習とは

主に、各教科の宿題と自主学習があります。

紋別中学校では、特に自主学習に重きを置いています。自分の得意な教科や苦手な教科を見出し、学習時間の割り振りなどを計画的に行うことで、意欲的に学習できる環境を作りましょう。

・ 家庭学習をするにあたって

(1) その日の復習、明日の予習、テスト前の事前対策を計画的に、継続的に . . .

今日習ったことをその日のうちに復習し、明日の授業の予習をすることを、日々確実にしましょう。一方で、定期テストや学力テストがいつあるのか、カレンダーで確認し、計画的に対策を立てて、目標に向かって継続的に学習しましょう。

(2) 規則正しい生活リズムから、学習時間の確保を . . .

起床・食事・家庭学習の開始時刻・就寝時刻を決め、規則正しい生活をした中から、家庭学習の時間を確保しましょう。中学校では放課後に部活動があります。部活動の加入は任意であることから家庭生活の過ごし方の違いが生まれます。それぞれの時間割を作りましょう。

(3) 集中してできる学習環境、心の落ち着く人間関係作りを . . .

集中してできる静かな場所、教科書や資料集、参考書等の配置など、必要な情報が入手しやすい環境を自分で整えましょう。また、TVやゲーム、スマートフォンのスイッチを切るなど、けじめをつける勇気を身につけましょう。一方で、中学校では思春期を迎え、友人や先生、親との人間関係を学ぶ大切な時期でもあります。家族や信頼できる友人との会話を大切にして、円滑なコミュニケーションをとっていきましょう。

・ 保護者の皆様をお願いします。

家庭学習には、保護者の皆様のお力添えも必要になります。学習時間の目安をもとに、時間割に従ってご家庭からの支援を生徒に伝えていただけるとありがたいです。特に日々の声かけは生徒にとって励みになるものです。「がんばっているね。」「できたところまで、見せてみて。」など学習結果だけでなく学習過程も見守っていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

・各教科の勉強例 参考として・・・

国語

- 【予習】①教科書を声に出して何度も読む。(慣れたら速く読めるようにする。)
②読めない漢字や意味のわからない語句を、辞典などを使って調べておく。
③新出漢字の練習をする。(音読み・訓読みを調べる。筆順に注意して書く。)
※余裕があればやってみよう。
・教科書を読んで、感じたことや疑問に思うことなどをメモしたり、教科書に印をつけておく。
・教科書の「目標」を参考にして、授業で学習する課題をあらかじめつかんでおく。
④単元が始まる時にはワークを活用し意味のわからない語句を調べておく。
- 【復習】①授業を思い出しながら、教科書やノート、プリントなどを読み返す。(声に出して!)
・授業で使ったプリントはしっかりファイルに閉じよう。
・授業で学習したことを家庭学習ノートにもう一度まとめよう。
②漢字の練習や習った語句の確認をする。(熟語にして書いたり、短文を作ったりして練習する。)
③宿題はその日のうちに!
④前回でできなかった問題を「再度書いて」解く
- 【テストに向けた取り組み】
①ワークブックや問題集などに取り組む。(答えはノートに書き、まちがったところは後でもう一度やり直す。わからないところは先生に質問する。)
※1年生は書き込みノートを活用する。2回目はワークに解く。
②テストの後には、必ず間違った問題の書き直しをして、完全に理解しておく。
- 【その他】
①新聞のコラム欄や興味のある短い文章を書き写す。
②日記を書く、印象に残ったこと、好きな歌詞などを書き留める。短歌や俳句を作ってみるのもよし!

社会

【そもそもの話】

・まず、授業で指示された課題や宿題に、自力で、全力で取り組むこと。ここがスタートラインです。答えを書き写したり、友達に見せてもらったりしても、理解はできません。

【普段の家庭学習】

- ①習った部分のワークを解きます(何も見ないで解きます。これ大事。)
- ②自分で解答を見て○付けをする。
- ③○が付かなかった問題は、解答の解説・教科書・ノートなどで確認する。
- ④覚えていなければ、唱える・たくさん書くなど工夫して、覚え直す。
- ⑤同じ問題を、その日のうちにもう一度解き直す(もちろん、何も見ないで解きます。)
- ⑥もう一度、自分で解答を見て○付けをする。
- ⑦○が付かなかった問題は、もう一度確認して、覚え直す。
- ⑧すべての問題に○が付くまで、この作業を繰り返す。

【テスト前】

・上の家庭学習を日ごろから取り組んでいれば、一度は完全に覚えているはずですが、時間がたって忘れてるので、覚え直す作業が必要です。
・テスト期間にも、授業が進むので、その範囲は上と同じ手順を進めましょう。
・改めて、テスト範囲のワークを、上と同じ手順で解き直しましょう。この作業を2回以上繰り返します。2回目・3回目は、必要に応じて、間違えた問題だけを繰り返してもよいでしょう。(ワーク用ノートを使っている人は、この時に役立ちます)
・ワークの問題を見た瞬間に答えを思い出すようになることが、目指す基準です。
・さらに完璧にするためには、ワーク巻末の用語集(一問一答・三問三答)も同じように作業すると良いでしょう。
・ここまでができた人は、市販の問題集やタメベンプリントに取り組むと良いでしょう。手順は、上と同じです。

【自分でもできること】

・習ったこと、学んだことが、どう世の中に表れているのかを探してみましょう。新聞・ニュース・自分の生活など、様々な場面で「社会科」を感じられると良いですね。

数 学

復習が大切。授業で行った内容の問題を繰り返し解く。解いて終わるのではなく○付けをして、なぜ間違えたのかを確認し、解き方がわからない部分は教科書やノート、問題集の説明の部分を読み、解けるまで根気強く取り組む。それでもわからない部分は学校で数学の先生に聞くようにして、わからないままにしないことが重要です。

テスト前も同様です。テスト範囲の問題を繰り返し理解するまで解きましょう。

理 科

授業のあった日に・・・

・ 授業のあった日の復習を学校配付のワークを使います。 答え合わせを必ず行い、できない問題はもう一度復習しましょう。

・ 実験などでは、特に注意点、使用道具等を確認しておきましょう。

各テストの前には・・・

・ 定期テスト（期末テスト、中間テストなど）や学力テスト前には、教科書・ワーク・単元テストプリントなどを中心に問題練習や不得意分野のまとめ、確認をしましょう。

英 語

【家庭学習をするにあたって…】

英語は「言語」です。使わないと忘れます。そのため毎日の「授業」に積極的に参加をしないと、家庭学習をしても身につかないことがあります。授業を大切にし、そしてほぼ毎日の復習（できれば予習）ができれば、身につく知識が多くなります。がんばりましょう。

【授業のあった日は…】

○その日に使ったワークやプリントの問題を、何も見ずに解いてみましょう。理解できたところ、できなかったところにそれぞれマークをつけて、自分の理解度を把握し、再復習をするなどして知識を身につけましょう。

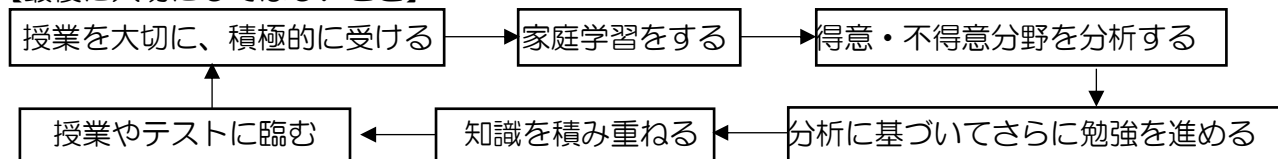
○英文や単語、フレーズは、発音をしながら覚えるまで何度も書いていきましょう。英文に関しては「文法」を理解して取り組みましょう。この方法も理解度を把握するために、マークをつけるなど工夫をしましょう。また実生活に「カタカナ語」がありふれています。英語とつながるものがほとんどですので、関連させて覚えていきましょう。

【テスト前は】

○そもそもですが、「出題範囲」を理解しましょう。例えば「一般動詞、助動詞、現在完了が範囲」と言われて、何のことかわからない状態で勉強しても、意味がありません。わからなければ先生や友達に聞きましょう。

○出題される範囲やポイントをおさえて、ワークやプリントを何も見ずに解けるかどうか、単語やフレーズも何も見ずに書けるかどうかを再チェックし、得意部分・苦手部分を理解しましょう。そして、どこに時間をかけて学習を進めるか考えて、再復習など勉強を進めましょう。

【最後に大切にしてほしいこと】



これは一つの例です。英語のみならず他の教科もがんばってください。みんなには小学校時代から積み上げてきた家庭学習の経験があります。中学校ではその経験に自分なりにひと工夫を加えて、自分の学習日課（ルーティン）を定着させてください。何事も「積み重ね」が大切です。がんばってください。